



くすい箱

発行

桐生厚生総合病院 薬剤部

発行責任者 小林 真弓

編集担当者 森田 由香利

矢古宇 由佳

小島 強

第30回目のテーマはお薬に関するQ&Aです。

薬はどこに保管すればよいですか？

薬は高温と湿気と光に弱いのです。ですから直射日光が当たらない湿気の少ない涼しいところで保存することが大切です。

目薬やシロップ剤などは一つの容器から何度も使用するため汚染を防止するために冷蔵庫に保存した方が安全です。

小さな子供のいる家庭では簡単に手が届くところに置かないようにしましょう。糖衣錠やシロップ剤は小さい子供にとっては美味しいお菓子に見えることがあります。

子供の手が届かないタンスの上などはストーブを焚いたとき熱が上に上がって案外高温になっていることがあります。台所は湿度が高いので避けたい場所の一つです。

冷所保存というのは 15℃以下を、室温保存は 1～30℃のことを言います。冷所保存でもフリーザーに入れるとインスリンなど薬によっては変質して効果がなくなるものもあります。



市販の薬はどれくらい長持ちするのですか？



薬はいつまでも効き目があるものではありません。たいていの薬の外箱には有効期間や使用期限が書いてあります。有効期間が3年以上のものは表示しなくても良いことになっています。



開封したときに容器などにその日付を書いておくことと使用するための目安になります。品質が安定な期間は、開封後、約6カ月位と考えておくのが無難なようです。使用期限内でも保存状態が悪ければ変質してしまっていることもあります。外観が変化しているような場合には使用するのは差し控えましょう。

救急箱などに入れてひとまとめにして保管している場合には、半年に一度くらいは期限切れや変色の点検を行いましょ。



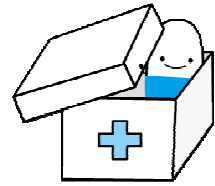
特に目薬やシロップ剤は雑菌やカビが混入すると、薬剤の水分や糖分によってどんどん繁殖して増えることもあるので、長く使わなかった場合には惜しまずに廃棄しましょう。



余った薬はどうすればよいのですか？

●市販の薬の場合

1年に1度位は薬箱の定期点検のつもりで、薬の整理をしましょう。期限を過ぎた薬や、いつ開けたかわからなくなってしまった薬は、思い切りよく処分してしまいましょう。



●病院の薬の場合



個人の容態に合わせて処方された薬ですから、同じような症状だと思われても他人にあげたり、他人からもらったりしてはいけません。そして、治療が終わった後も、もしもという時のためになどと残った薬をとっておくことはしないで、すみやかに処分してください。

薬には有効期限というものがあります。開封後の薬の期限は薬によっても多少の違いはありますが、約6カ月位が目安だといわれています。しかし、これは正しい保管状態での話です。また、粉薬など調合された薬についてはこの限りではありません。普通、薬をお渡しする期間が有効期間といわれていますから、もったいないなど思わずに、再び身体の具合が悪くなった時は新たに診察を受けて薬を処方してもらいましょう。



お薬手帳ってなんですか？

お薬手帳とは自分が使っている薬の名前・量・日数・使用法などを記録できる手帳です。副作用歴、アレルギーの有無、過去にかかった病気、体調の変化などについても記入できます。



- ① 飲み合わせや薬の重複をチェックし、副作用や飲み合わせのリスクを減らします。
- ② 副作用歴、アレルギー、過去にかかった病気などの情報を伝えることができます。
- ③ 旅行や災害、急に具合が悪くなったときなどに、自分の薬の情報を正確に伝えることができます。

お薬手帳を使うときに気をつけることはなんですか？

- ※ お薬手帳は一冊に…より正確な記録になります
- ※ 医療機関、薬局へ行くときには忘れずに…基本情報がすぐに伝わり、的確な治療の助けとなります
- ※ アレルギーや副作用歴は必ず記録を…副作用のリスクを未然に防ぐことができます



次回は、2014年3月発行予定です。